

YES 環境出前授業 記載用紙

講座名： 旅する二酸化炭素、おやすみ炭素（炭素循環のお話）

団体名： サステナビリティ教育研究会

テーマ	A エネルギー・暮らし：□省エネ □再エネ ■気候変動（温暖化、地球環境）■暮らし B 生き物：□生物多様性 C 自然：□水 □みどり D 資源の循環：□3R（サーキュラーエコノミー等） その他（具体的に）：□（ ）
講座対象者	■小学校低学年 ■小学校中学年 □小学校高学年 □放課後施設利用児童 □中学生 □高校生 □大学生 □地域一般
授業活用例 ※教科・単元など	社会、理科、家庭科、総合
対応可能曜日	■平日 □休日 □その他（水曜日のみ不可）
対応可能時間	9時から16時（2～6校時）
講座実施方法	■学校出前授業（講義＋体験） □ワークショップ（工作・実験等の体験） □イベント、ブース出展 □施設見学
講座所要時間	45分 2時限
実施条件、 必要な準備等	借用希望 スクリーン、プロジェクター グループワークとしたい

内 容

1. 本講座の目的・ねらい、工夫

気候変動とは何か？どんな影響があるかを簡単に説明。気候変動の原因は何かを学ぶ。
炭素循環、窒素循環の基礎を学ぶことで、気候変動対策として、温室効果ガスの二酸化炭素排出削減だけでなく炭素、窒素を循環させることが大事だということを知る。すなわち具体的には吸収する土、森林がとても大切だということを知る。

2. 講座の内容、流れ（時間配分）など

前半：

- ①気候変動について、その対策
- ②炭素循環、窒素循環の基礎
- ③二酸化炭素を吸収するものについて

後半：

- ①木の大切さ
- ②日本は木を大切に暮らしてきた文化がある
- ③コウゾと和紙の関係
- ④和紙でありがとうカードの制作



【お問合せ先】

団体名： サステナビリティ教育研究会

メールアドレス：maiharuli3104@gmail.com